

令和5年度 第2回男女共同参画審議会(R5.7.24)の議事録【概要版】

議題I 第4次川西市ジェンダー平等推進プランの素案について(主なご意見)

- ①「国勢調査」の漢字誤り(P.7)
- ②用語解説に必要な用語:レインボーカラー、グラデーション(P.17)
- ③性と生殖に関する健康の増進と権利の擁護=リプロダクティブ・ヘルス/ライツは、併記したほうがよい(P.16)、用語解説にも入れたほうがよい。
- ④「一方」は削除すべき(P.17、P.33)
- ⑤性のあり方がグラデーションという表現に違和感がある。文書を検討して欲しい。(P.17)
- ⑥基本課題5、具体的施策42番「国や県が実施しているワーク・ライフ・バランスに係る企業認定制度・表彰制度をPRします」は、基本課題4の具体的施策へ移行したほうがよい(P.31)
- ⑦WEPsについての記載があってもよいのでは。第2章の2世界・国・兵庫県の動向の(1)世界の動向の中に、記載したらどうか。(P.4)
- ⑧基本課題4の現状と課題の黒丸二つ目の文書の途中からの文書(従業員が限られた時間の中で効率的に仕事をすることを意識するようになり、生産性が向上し、経営の改善につながっています。組織の発展にとっても働き方の見直しが必要なことを周知徹底する必要があります)に違和感を感じる。効果効率を前面に出しているが、ワーク・ライフ・バランスはそういうことではない。仕事も家庭も地域でも生き生きと生活できること。ウェルビーイング(心身と社会的な健康)の享受のような言葉を入れてはどうか。用語解説にも入れる。(P.26)
- ⑨評価指標において、%を使用しているときは、〇〇%以下や〇〇%以上といったように、以下や以上を入れたほうがわかりやすいのではないか。(P.18など)
- ⑩評価指標に、「市が表彰した事業所数」を入れたらどうか。(P.27)
- ⑪基本課題2の施策の方向「家庭・地域・事業所における～」だと庁内が含まれないので、「家庭・地域・職場における～」のほうがよいのでは。(P.20)
- ⑫庁内全体でこのプランにしっかり取り組んで欲しい。
- ⑬新規の評価指標は、例えば、「令和6年度スタート」と記載したら、現状がゼロでも問題ない。
- ⑭基本課題10の評価指標が一つしかない。この指標もセクハラにあった人よりも、セクハラ相談をした人とかの指標はどうか。新しい指標として、例えば「デートDVの講座開催数」とか「ハラスメントの講座開催数」とかどうか。
- ⑮性の多様性の教育は、大事。学校現場は、事例があると、慌てて対応に追われる。子どもたちにつながるような研修を充実させたいが、研修費用は限られている。
- ⑯基本課題2の評価指標に「教職員を対象としたセクシュアル・マイノリティを含めたジェンダー平等に関する研修開催数」を入れたらどうか。あるいは、「セクシュアル・マイノリティの研修開催数」とかはどうか。(P.21)
- ⑰会計年度任用職員の割合は女性が多い。ここを解決していくような方向性を持たないといけない。
- ⑱市民意識調査の自由意見を抜粋して、プランに入れるのかどうか。市民と行政が協働して計画したものに感じられる。

- ⑱市民意識調査の自由意見を全てプランに盛り込むことはできないので、全ての自由意見はここで見るができますよ、みたいな掲載場所の案内を入れるような工夫をしたらどうか。
- ⑳基本課題7の二つ目の黒丸のジェンダーギャップ指数は令和5年の数値に変えるべき。(P.37)
- ㉑基本課題7の具体的施策に、外国語でDVのチラシを作成・配付するとかどうか。外国人は、DV被害にあいやすい(P.38)
- ㉒全体的に評価指標の数と内容の検討をお願いしたい。
- ㉓外国人の相談窓口まで作らないと、DV防止とかにはならないのでは。